

ちん電駅めぐり de すみ博———阪堺電車7駅をめぐって三択クイズに答えよう！

各駅の設問内容とその回答（正解は赤太文字）

① 姫松（ひめまつ）

1970年代、帝塚山周辺では高田渡・加川良など多くのフォークシンガーが活動していました。そのひとり加川良のレコードジャケットにはこの姫松駅も描かれています。姫松駅より南港通りに沿って少し東南に行ったところにかれらが一時居住していたアパートがありました。その以前にはあの小説家・織田作之助も一時住んでいました。そのアパートの名前は何かというのでしょうか？（今はありません）

- ① 帝塚山園
- ② 万代園
- ③ 姫松園

② 帝塚山四丁目（てづかやま4ちょうめ）

2010年9月～2011年4月のNHK朝の連続ドラマ小説「てっぱん」のロケ地の一つとして、帝塚山四丁目駅周辺での撮影が行われました。

広島県尾道市と大阪市を舞台にして、ヒロイン村上あかりが大阪の祖母の下で、かつて祖母と母が切り盛りし閉店していたお好み焼きの店を再度復活させ、息を吹き返させ周りの協力をえながらも笑いあり感動ありの庶民派ホームドラマでした。この「てっぱん」のヒロインを演じた女優は誰でしょうか？

- ① 貫地谷しおり
- ② 瀧本美織
- ③ 葵わかな

③ 神ノ木（かみのき）

山崎豊子原作の小説に登場の浜田文乃の住まいが住吉区住吉町一四五番地（実在せず）、神ノ木の停留場も度々登場する。船場の老舗木綿問屋「矢島商店」の婿養子社長・矢島嘉蔵が死去し、遺言により発覚した身重の愛人・浜田文乃と嘉蔵の娘三姉妹、更に大番頭宇市ほかの思惑も絡まり、遺産相続を巡る凄絶な権謀術数の様が描かれる。1963年には映画化された際に、神ノ木でのロケもあった。この小説の題名は何でしょうか？

- ① 花のれん
- ② ぼんち
- ③ 女系家族

④ 住吉（すみよし）

姫松駅に類似する特徴的な半円型持送りの柱頭部のある駅舎。上町線・阪堺線2線分岐で3ヶ所のホームがあり、住吉鳥居前駅から住吉駅付近は撮り鉄の撮影スポットでもある。住吉公園駅が廃止されるまでは、ダイヤモンドクロッシングもあった。住吉公園駅は2016年1月に役割を終えるまで一時期「日本一終電の早い駅」と言われていたが、天王寺駅前行きの終電時刻は何時だったのでしょうか？（旧駅舎は今も残されている。）

① 午前 8時24分

② 午前10時24分

③ 午前12時24分

⑤ 細井川（ほそいがわ）

駅の北を流れる細井川（細江川）は、元は依網池（現在の大依羅神社付近にあったとされる池）および旧寺岡村（現在の長居周辺）が水源で約 4.2 kmの川であったが、現在は約 2.5 kmになり、南住吉付近ではまちのせせらぎとして再整備されている。古代はこの細井川の河口に「住吉津(すみのえのつ)」があり、遣唐使の発着港・外交の港として重要な役割を担っていた。

この細井川より都に旅立ったとされるおとぎ話は何でしょう？

① ももたろう

② 一寸法師

③ きんたろう

⑥ 安立町（あんりゅうまち）

安立町は元は「西町」と呼ばれていたが、近世に「半井安立軒元成(なからい・あんりゅうけん・もとなり)」という名医が、この地に住んでいたことに因み「安立町」に変わったとの由。

この付近は「霰松原(あられまつばら)」とも呼ばれ江戸中期まで海岸線で白砂青松の名勝地であった。松風が霰を吹き付けるように響いたのでこの名がついた。ここには万葉の歌碑と共に、重要施設跡であることが記されています。それは何でしょう？

① 東成郡安立町役場跡

② 住吉安立行宮跡

③ 紀州街道安立本陣跡

⑦ 我孫子道（あびこみち）

上町線は最初明治 33 年(1900)大阪馬車鉄道として、天王寺西門前～東天下茶屋間が開通、同年 11 月に上住吉(神ノ木)まで延伸。阪堺線は明治 44 年(1911) (旧)阪堺電気軌道として、恵美須町～大小路間が開通しました。

この駅南側には我孫子道車庫があり、毎年6月頃「路面電車まつり」が催され、子どもたちを始め多くの路面電車ファンにより賑わいます。その車庫南側には、車両の入換を行う際に奥にある車両を効率よく引き出すために考案された設備が残っています。それは何でしょう？

① 転車台(ターンテーブル)

② 遷車台(トラバーサー)

③ 操車台(スイッチヤード)